

## カンボジア 工場労働者のための子宮頸がんを入口とした 女性のヘルスケア向上プロジェクト

Newsletter from SCGO-JSOG Project on Women's Health and Cervical Cancer

No. 31 June 2018

### 健康教育教材を強化 リーフレット・ブックレット作成

健康教育を実施していく中で、工員の識字率が高くないこと・時間的制約により質疑応答やフィードバックの時間が十分に確保できないことから、工員たちの理解をより深める取り組みが必要であることが分かりました。改善策として教材強化が挙げられ、現在の教材（パワーポイント）を元にした復習用資料（リーフレットとブックレット）と、子宮頸がんに関する視覚教材ビデオを作成することになりました。

まず先に取り掛かっているのはリーフレットとブックレットの作成です。健康教育実務者とカンボジア産婦人科学会理事との話し合いを経て、6月28日にはデザイン会社との初回打ち合わせが行われました。



デザイン会社担当者  
と契約締結及び  
初回打ち合わせ。  
どんな教材が出来  
上がるか、来月以  
降のニュースレタ  
ーで追ってご報告  
します。



### ～ 顕微鏡贈呈式 ～

東京医科歯科大学保健衛生学科検査技術学専攻で使わなくなった顕微鏡5台を、カンボジア病理技師の標本チェックなどに役立つ為に寄付していただき、神戸国際医療交流財団の資金でカンボジアまでの輸送が実現しました。6月19日に贈呈式が行われ、国立保健科学大学・クメールソビエト病院・カルメット病院・コサマック病院・国立母子保健センターにそれぞれ1台ずつ寄贈されました。

贈呈式にはカンボジア産婦人科学会のカナル理事長、各病院・大学の病理医と病理技師の他、神戸国際医療交流財団の後藤章暢代表理事と松本安代医師が出席。神戸東ロータリークラブからのオブザーバーも出席しました。

贈呈式の後、早速顕微鏡を嬉しそうに覗くカンボジアの病理技師たちの姿が印象的でした。今回の取り組みが、今後のカンボジアにおける病理診断技術向上の一助となる事を願っています。



カナル理事長から後藤代表理事へ感謝状贈呈



贈呈式出席者全員で集合写真



顕微鏡を早速組み立て、覗いてみます

### プロジェクトを取り巻く動き

5/26-6/1: 藤田則子医師カンボジア派遣

6/28 : リーフレットとブックレットのデザイン会社と打ち合わせ